

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立中央小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数(113 人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国に比べて下位層がやや多く、上位層がやや少ない状況にある。ただし全国と比べて中間層が多くなっている。

平均正答率(本校 71/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中間層が多い。また下位層も全国平均と比べてやや多くなっている。

平均正答率(本校 56/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【読むこと】 ○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読むことに課題がある。 3 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する。(66.4/74.4) ○俳句の情景を捉えることが概ねできている。 4 一 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。(77.9/79.4) 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことが概ねできている。 7(3) 申し込み <u>期限</u> (92.9/94.5) 7(6) <u>指示</u> (93.8/94.5)	○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることが概ねできている。 5 ことわざの使い方の例として適切なものを選択する ア 三度目の正直 (85.0/90.0) イ もちはもち屋 (82.3/83.6) ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題がある。 7(1) 漢字を書く(参加 <u>たいしょう</u>) (30.1/42.0)

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話す・聞く能力】 ○目的や意図に応じ、適切な言葉づかいで話すことは、全国平均を下回っている。 1 一 スピーチ練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する (70.8/77.2) 【書くこと】 ○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。 2 三 「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができる。」ポスターの一文を書く。(23.0/33.0) ○物語を読み、具体的な叙述をもとに理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。 3 三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く (42.5/43.8)	【読むこと】 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることは概ねできている。 3 一 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する。(75.9/74.3) ○自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がある。 3 二 「きつねの写真」を読んだ後の話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものを選択する。(28.3/28.0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	45.1	60.5	○	15.4
国語の勉強は大切だと思いますか	88.5	91.2		2.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	75.3	82.2	◇	6.9
読書は好きですか	68.1	74.3	◇	6.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.4	87.9	◇	6.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	53.1	68.0	○	14.9
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	60.2	63.4		3.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	61.9	74.8	○	12.9
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（「全ての書く問題で、最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	73.5	77.2		3.7
調査問題の解答時間は十分でしたか A（「全く足りない」の割合）	2.7	2.2		0.5
調査問題の解答時間は十分でしたか B（「全く足りない」の割合）	8.0	6.1		1.9

○「国語が好き」と考えている児童が昨年度と比較して減少しており、全国と比べても低い割合であるため、課題だといえる。(H28) 55.9

○「国語は大切だと思う」「国語は将来役に立つ」と感じている児童の割合は高い割合にあるため、評価できる。国語に対して、前向きな意識を持ち、取り組んでいることがうかがえる。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」児童や「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いている」児童は昨年度と比較して減少しており、全国と比べても低い割合であるため、課題だといえる。

・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」

(H28) 57.0

・「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いている」

(H28) 69.9

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、ピークが1ポイント低いところにあるが、概ね全国平均と変わりなく右肩上がりの分布となっている。しかし、そのカーブはなだらかなものではなく、いくつもの山が見受けられる。

平均正答率(本校 79/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・最も割合の多い正答数は全国と概ね同じであるが、全国では1つの山の形に分布しているのに対し、本校では山が2つ現れている。

平均正答率(本校 43/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○計算の能力・四則計算の技能は、概ねできている。 1(1) 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解する (97.3/96.9) 2(2) 小数と整数の加法の計算 (87.6/79.7) 2(3) 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする (83.2/66.6) ○商を分数で表すことに課題がある。 2(4) $5 \div 9$ の商を分数で表す (55.8/69.2) 【図形】 ○立方体の面と面の位置関係を理解することは概ねできている。 7 立方体の展開図から示された面と平行な面を選ぶ (87.6/86.7)	【数量関係】 ○未知の数量を□を用いて、問題場面を除法の式に表すことに課題がある。 8 はじめに持っていたシールの枚数を□としたときの、問題場面を表す式を選ぶ (77.0/83.6) ○資料を次元表に分類整理することは概ねできる。 9(1) 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ (86.7/88.0) ○資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題がある。 9(2) 二次元表の合計欄に入る数を書く (48.7/62.8)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○示された条件を基に、適切な式を立てることは概ねできている 1(1) カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く (77.9/76.0) ○示された考えを解釈し、数を変更した場合も関係が成り立つことを、図に表現することは概ねできている。 1(2) 示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す。 (79.6/81.8) 【数量関係】 ○問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することに課題がある。 1(3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く (32.7/38.6)	【量と測定】【数量関係】 ○仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに課題がある。 3(2) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める (26.4/22.1) ○割合を比較するという目的に適したグラフをえらぶことに課題がある。 4(2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。 (29.3/23.9) 【図形】【数量関係】 ○身近なものに置き換えた基準量と割合をもとに、比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。 5(2) 与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。 (8.8/13.2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	62.8	65.9		3.1
算数の勉強は大切だと思いますか	87.6	92.0		4.4
算数の授業の内容はよくわかりますか	77.8	80.6		2.8
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	73.5	75.7		2.2
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	78.7	81.1		2.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	57.5	69.1	○	11.6
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.6	89.1		1.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.3	81.5	◇	6.2
算数の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	77	82.6	◇	5.6
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.1	86.0		1.9
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 「解答しなかったり、途中で諦めた」の割合	27.4	27.1		0.3
調査問題の解答時間は十分でしたか(A) 「全く足りない」と答えた割合	4.4	2.6		1.8
調査問題の解答時間は十分でしたか(B) 「全く足りない」と答えた割合	25.7	14.0	○	11.7

○「算数が好き」と答えている児童が年々増えてきており、全国平均との差も縮んできている。

(H27) 53.9 (H28) 58 (H29) 62.8

また、「算数の授業の内容はよくわかる」と答える児童も昨年度と比較して増えていることは、授業改善の取り組み成果であると評価できる。

(H28) 69.9 (H29) 77.8

○「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか」「もっと簡単に解く方法はないか」など、自分で考えたり工夫したりすることに課題がある。生活から生まれた課題を学習とつなげたり、学習したことを生活に返したりする取り組みを一層充実させる。また、計算して一つの答えを出すだけでなく、算数の表現を使って論理的に説明することができる児童に育てていけるよう、更なる授業改善が必要である。

○「解答時間が全く足りない」と答えた児童のポイントは、依然として高いままであり、成果が数字として表れていない。読み解く力を高めるための指導を工夫改善していく必要がある。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子・自己評価・地域での様子】	・テレビ、ビデオ、DVD、テレビゲーム、携帯電話、スマートフォン、インターネットなどを使用している時間が長い。 ・携帯電話やスマートフォンを持っていない児童の割合が低い。 ・家庭でのテレビ、ビデオ、DVD、テレビゲーム、携帯電話、スマートフォン、インターネットの使用のルール作りが必要である。 ・朝学での「読書タイム」や地域に大きな図書館があるにもかかわらず、読書に関心のある児童が少ない。 ・地域の行事や問題、出来事に関心のある児童が少ない。	○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く) ・4時間以上<31.9/16.6> ・1時間より少ない<4.4/14.8> ○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか ・4時間以上<20.4/9.7> ・全くしない<5.3/14.0> ○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) ・携帯電話やスマートフォンを持っていない <20.4/36.7> ○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか ・(どちらかといえば)している<46.0/58.3> ○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) ・全くしない<33.6/20.5> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか ・(どちらかといえば)当てはまる<26.6/62.6> ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか ・(どちらかといえば)当てはまる<52.2/63.9> ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか ・(どちらかといえば)当てはまる<30.1/42.3>

【家庭学習の様子】	・放課後、土曜日の午前や午後に、学習やスポーツをする習慣がついていない。 ・学期毎の「チャレンジウィーク」では、1週間を通して学習計画を立てて取り組んでいるが、継続的な習慣として身につけていない。	○放課後に何をして過ごすことが多いですか ・家で勉強や読書をしている<45.1/60.9> ・スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている<31.9/45.1> ○土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか ・家で勉強や読書をしている<41.6/51.2> ・スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている<23.0/30.5> ○土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか ・家で勉強や読書をしている<29.2/42.8> ・スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている<23.9/32.8> ○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか ・(どちらかといえば)している<49.6/64.5>
【学校での学習の様子】	・自分で課題を立てることに苦手意識がある。 ・振り返りの活動や、まとめなどを書くための機会が多くないと感じている。 ・書くことに対して、難しいと考えている児童が多い。 ・全体的に、算数と比較すると、国語に対する苦手意識が大きい。	○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか ・当てはまる<9.7/27.1> ○5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか ・当てはまる<21.2/40.3> ○5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか ・当てはまる<38.1/68.9> ○5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか ・当てはまる<13.3/34.5> ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか ・そう思う<47.8/32.9> ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか ・そう思う<33.6/23.4> ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか ・そう思う<14.2/26.9>

本校の取組み

◎これまでの取組み

◇基礎学力の定着をめざして

- ・朝学習の時間(朝の会后、1時間目開始までの15分間)等を活用しての反復学習
- ・家庭学習のすすめ(「家庭学習チャレンジウィーク」を特設しての意欲喚起等)
- ・まなびんぐサポート事業を活用した放課後学習(3年生)
- ・算数ふり返しテストの実施(つまずきが多くみられた単元を重点的に復習する)

◇「おちついて取り組める授業」「わかる授業」「楽しい授業」をめざして

- ・「聴き方あいうえお」の指導
- ・生活体験に基づく授業導入、また、生活につながる教材や課題の設定
- ・授業毎の「めあて」「まとめ」の明示
- ・自己表現機会の充実(「発表話型」の提供・ペア学習やグループ学習の活用)
- ・個人思考の時間の保障
- ・少人数指導の実施(つまずきが多く見られる単元を中心に、少人数分割授業を実施)
- ・上記の充実による授業改善検証のための研究授業・研究協議会実施(全学年)

◎これからの取組み

◇授業における取組み

(国語)

- ・説明文や作文を通して、段落構成を意識した学習を進める。
- ・作文指導を工夫し、「自分の考えを書く」ことへの抵抗感を少なくする。
- ・要点をつかむ力をつける(物語文や説明文の学習において、キーワードを見つけて要約する活動など)
- ・漢字の反復練習

(算数)

- ・視覚的な支援や具体物の操作を多く取り入れ、さらに日常生活に活用できる算数的活動を推進する。
- ・式の意味を考える学習を積み重ねる。
- ・答えを求めるだけでなく、図や言葉を用いて考えを表現する活動を積極的に行う。
- ・グラフや表などの資料の読み取り方を丁寧に指導する。
- ・「ふり返しテスト」を通じた、少人数指導の単元の見直しをする。

(その他全般)

- ・ペア学習・グループ学習をはじめとした話し合い活動の充実
(的確な質問をする力や、相手の考えを受け止め自分の考えを伝えようとする姿勢の育成)
- ・個人思考の時間を確保し、みんなで考える場面も効果的に設定する。
- ・資料を読み取り、考えたり活用したりする活動を増やす。
- ・「見やすい・振り返りやすいノート」をポイントにノート指導を行う。
- ・様々な学習において「なぜ」という問いかけや理由づけを大切にする。

◇家庭学習の推進

- ・「家庭学習チャレンジウィーク」や自学ノート等を通して、継続的に家庭学習ができるようにする。
- ・家庭学習の例を示し、自分で課題を見つけられるよう支援する。

◇読書活動の充実(読書タイムの設定や絵本の読み聞かせ、おすすめの本紹介など)

◇テレビ・ゲーム・スマートフォン等の使用に関するモラルの啓発活動

- ・児童への指導と、講演会や学校便りを通じた家庭への啓発を行う。